

【全体概要】

沖永良部地域のトルコギキョウは、温暖な気候を生かした冬春期出荷の栽培が行われているが、曇天の日が多く、生産が安定していない。また、多くの品種が導入されているが、適応性が不明な品種が多く、適品種の導入が遅れている。このため、地元で組織化された研究会を中心に生産技術の改善や適品種の選定に取り組み、地域全体の産地振興を図る。

新品種・新技術等の概要

- 無加温ハウスによる冬春期2度切り栽培技術
- 適品種の選定及び普及



実証中のピンク系品種

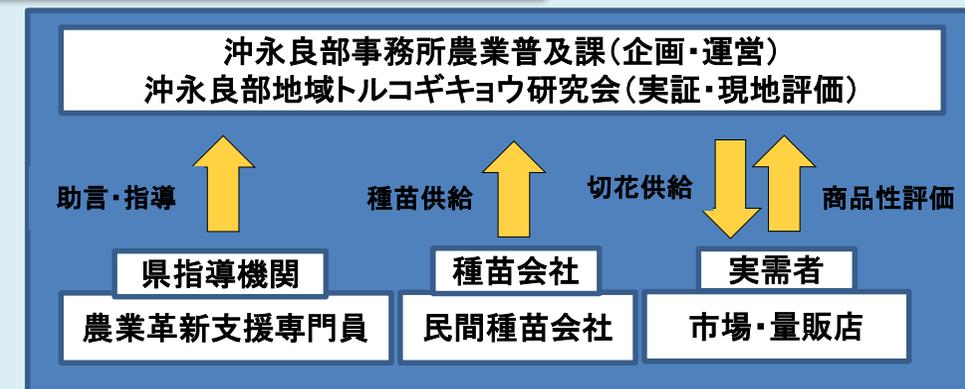


2度切り栽培の普及品種

主な取組内容

- 無加温ハウスによる冬春期2度切り栽培技術
現地事例把握、栽培指導
2度切り栽培展示
- 適品種の選定及び普及
現地事例把握、先進地情報収集、市場ニーズ等調査
品種選定会議、新品種等の栽培実証（継続中）

実施体制図



課題と今後の対応

- 1年目の取組
 - ・現地の栽培技術、品種等の把握及び整理
 - ・2度切り栽培技術及び新品種の栽培実証
 - ・先進地情報収集（長野県）
 - ・市場ニーズ等調査（関東）
- 今後の対応
 - ・2度切り栽培展示結果の取りまとめ
 - ・品種適応性実証結果の取りまとめ
 - ・先進地情報収集
 - ・品種選定会議 等